

宇都宮大学 CLILワークショップ

教職基礎体力を備え国際感覚に優れた教員の養成充実に向けた改革プロジェクト
(科学研究費研究(c) 外国語活動におけるCLILを活用したカリキュラム及び指導者養成プログラムの開発)

「イタリアのCLILに学ぶ」

シルバナ・ランポーネ氏による
小学校英語教科化にむけた
専門性の向上のためのワークショップ

2016年6月4日(土) 宇都宮



10:00-10:05 開会挨拶
*** (宇都宮大学理事・副学長 藤井佐知子)

〈司会&コーディネーター 山野有紀(宇都宮大学)〉

10:05-11:05
Silvia Minardi氏 ■講演■ (簡易要約(日本語)有り)
(イタリアLEND会長 シエナ大学講師)

「イタリアの中学校・高校におけるCLILと教師間連携」
* LEND: Lingua e nuova didattica (新しい実践的な言語教育を推進する学会)

12:10-15:45
Silvana Rampone氏 ■ワークショップ■ (通訳無し)
(イタリア文部科学省ナショナルトレーニング教員研修指導者)
「CLIL実践ワークショップ」

* 途中休憩 Q&A有り

15:45-15:50 閉会挨拶
(宇都宮大学)



講師紹介・内容

シルバナ氏は長年イタリアのピエモンテ州ピネロロで小学校教諭を務め・EUにおけるCLILプロジェクト推進・「ヨーロッパの教師連携プラットフォーム」で、eTwinning アンバサダーとして活躍している。毎夏にはイギリスでCLIL集中コースを担当、子どもの協同的な学習を創り、思考スキルを育てる授業の在り方を、EUの教師に体験的な方法で指導している。“Learning a language has to be enjoyable” (英語を学ぶことは楽しいものでなくてはならない)。そして、内容をとおして子どもが発見する文法について教師は理解しているべきである(シルバナ先生談)。このたび小学校英語教科化にむけて、教科の内容である「動物の住みか」「世界の住居」等を英語で行う授業や、子どもへのリタラシー指導の実際を紹介する。
著書『Cross-Curricular Resources For Young Learners』Oxford University Press

* CLIL (クリル) とは

CLILとはContent and Language Integrated Learning (内容言語統合型学習)の略語で、内容(社会や理科などの教科)・異文化理解などのトピック)と言語(英語)の両方を学ぶ方法です。特徴は、Content (科目やトピック)、Communication (4技能を使って言語コミュニケーションを図る)、Cognition (様々な思考力)、Community・Culture (協学、異文化理解、地球市民意識)の「4つのC」で授業が組み立てられていることです。

- 対象者: 現職教員(小学校・中学校・高等学校および大学教員)・小学校英語を教える先生・学生・院生・留学生
- 申込み: 1.お名前 2.所属 3. PCアドレス 4. 連絡先電話番号を明記し、宇都宮市立岡本西小 星笑美子宛 FAXにて申込み
FAX番号 028(673)9348 申込〆切5月20日(金)
- 参加費 無料 (定員: 先着60名までとさせていただきます。)
- 場 所: 宇都宮大学 UUプラザ コミュニティフロア(2F)
- 問い合わせ先(教育学部・山野) yyamano@cc.utsunomiya-u.ac.jp



主催: 宇都宮市小学校英語教育研究会 共催: 宇都宮大学教育学部人文社会系英語分野 栃木県国際理解教育研究会
後援: 栃木県教育委員会 宇都宮市教育委員会
連携開催場所: 北海道教育大学(担当: 萬谷隆一) 5月28日(土) 大阪教育大学(担当: 柏木賀津子) 5月29日(日)
宇都宮大学(担当: 山野有紀) 6月4日(土) 早稲田大学(担当: 長田恵理 酒井志延) 6月5日(日)